

## Hospital 病院クローズアップ

## 国立病院機構

## 刀根山病院

「疾患にこだわらず、ぐっすり寝て健康を回復しよう」  
をスローガンに、すべての疾患の改善に努める

当院は「呼吸器」「神経・筋」「整形外科」に特化した専門病院です。大阪府から肺がんの拠点病院に指定されているため、肺がん診療を充実させ、北摂の拠点として新たな治療法の開発にも努めています。

当院において、私が掲げたテーマは2つあります。1つは医療費の抑制、もう1つは地域医療です。地域医療については、今までは地域の公的病院と民間病院が個々に活動してきましたが、これからはすべての病院が一体となって機能することが求められていると感じています。患者さんを中心に、全病院の医療がチームとなって地域の方々の生活を支えていく仕組みをつくるのが大事だと考えます。

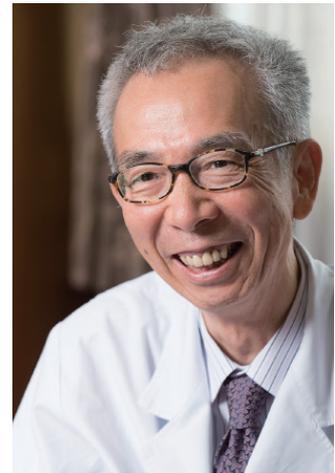
一方、睡眠センターを立ち上げ、3～4年前から勉強会を開催しています。超高齢化社会において、患者さんはいくつもの疾患を抱え、複数の医療機関を受診し、投薬の量も増えているのが現実です。当院では「疾患にこだわらず、ぐっすり寝て健康を回復しよう」という目的で睡眠センターを設立しました。たとえば、逆流性食道炎や高血圧、腎透析をする人の多くに睡眠時の無呼吸が見受けられますが、それを治せば、高血圧も改善されたり、腎透析までしなくて済む可能性があったりします。睡眠の質の向上は、合併症を持っている人を助けることにつながる。それが睡眠センター設立のコンセプトです。

もう1つ、取り組み始めたのがポリファーマシー対策です。誰が薬剤管理をしていくのかという指

標をきちんと定めていくことを目標にしています。今後は西宮の調剤薬局と、武庫川女子大学薬学部の助教授の先生とチームを組んで、残薬を整理するプロジェクトを始める予定です。これがポリファーマシー対策の骨格になると考えており、現在、倫理委員会を通して、問診票がスタートするという段階です。

研修についてですが、もの忘れ外来と、高次機能のエキスパートの人の検死を勉強できるプログラムになっています。画像カンファレンスも月1回、大阪大学神経放射線科の方が来院され、指導していただいています。電気生理についても、京都大学出身の先生に月1回来ていただき、勉強会を開催しています。当院は、オールラウンドに勉強ができる、数少ない病院です。これだけ先生が揃っている病院は、なかなかないと思います。現在、神経内科に3名、呼吸器内科に5名の後期研修医の先生方がいます。

ただ、言っておきたいのは、神経内科に限らず、どの部門でもそうですが、専門があっても、全身が診れないとダメだということです。神経内科の専門医だからといって、それだけをやるのではなく、睡眠や食事など、すべての診療科に基盤となるものを当院では整備してきています。たとえば、ピロリ菌などは全診療科に関係があるものです。それぞれの部長クラスには担当診療科を伸ばしてもらい、私はプラットフォームを準備していくという形で推進しています。



## 院長PROFILE

佐古田 三郎 (まこと・さぶろう)

1975年大阪大学医学部卒業。

大阪大学助手・講師・助教授を経験し、2000年大阪大学医学部神経内科教授を経て、2010年刀根山病院院長に就任。大阪大学名誉教授・医学博士でもある。

パーキンソン病から認知症まで様々な疾患の治療に従事するとともに、睡眠・食事療法などを取り入れた養生法の研究と啓発を続けている。

## 刀根山病院 DATA

## ■ 所在地

大阪府豊中市刀根山5丁目1番1号  
<http://www.toneyama-hosp.jp>

## ■ 病床数

500床（一般410床、結核90床）

## ■ 診療科目

内科／（心療内科）／神経内科／呼吸器内科／呼吸器腫瘍内科／呼吸器緩和ケア内科／小児神経内科／外科／整形外科／リウマチ科／呼吸器外科（耳鼻いんこう科）／（眼科）／リハビリテーション科／放射線科／麻酔科／（歯科）／病理診断科

## ■ 研修の特色

大阪大学医学部附属病院と大阪市立大学医学部附属病院の各プログラムの中で、初期研修を受け入れています。指導医とともに入院患者を受け持ち、医師としての基本的な考え方や技術の取得を目指します。将来の進路を考慮しながら指導を行います。後期研修においては、初期研修終了後、あるいは、総合内科を研修した後、呼吸器内科専門の研修を行う選択肢も用意しています。



呼吸器集中治療室 (RICU)



化学療法室



リハビリテーション科



病棟最上階から見える大阪国際空港方面

## 刀根山病院のある街

## 大阪の北摂地域のニュータウン。ファミリー層も多い街

もともと山林地帯であった豊中市は千里ニュータウンの開発によって市街地が広がり、人口が急激に増えた都市だ。人口は約39万人になる。

服部緑地は大阪府を代表する緑地。甲子園球場33個分という広大な敷地だ。豊かな自然、10数個に及ぶ池があり、また、春には花見も楽しめることから多くの市民の憩いの場になっている。敷地内には日本民家集落博物館や乗馬センター、パーベキュー広場、野外音楽堂などもある。

「足的神様」として関西で知られる服部天神宮では毎年8月25日に足の守護祈願大祭が行われる。参列者全員に宮司が特大金幣を授け、足を

さするそうだ。また、1月9～11日には豊中えびす祭りが開催され、30万人以上の参拝者で賑わう。

大阪国際空港（伊丹空港）は、レジャー施設的な要素を取り入れた空港づくりが行われている。多目的施設の「スカイランドHARADA」では発着する航空機を眺められるスポットにもなっている。

伊丹スカイパークは滑走路脇の写真撮影ポイントだった場所を造成して作られた公園で、至近距離でエアボーンの間瞬間を見ることが出来る。ターミナルビル4階テラスには展望デッキ「ラ・ソーラ」があり、写真撮影に最適なスポットも多くあり、カメラマンには人気の場所だ。

